

題材「お手紙を書こう」

(1) 学習のねらい

今のクラスメイトと過ごす3年間のうちの約半分を終えた子どもたちが、教師の体験談を聞いたり教師からそれぞれに宛てた手紙を読んだりして、思いを伝えたい人に少しずつ手紙を書くことを通して、手紙に書く内容を考えながらクラスメイトのいいところや感謝を伝えたいと感じるところに気づき、クラスメイトを大切にしようという気持ちを持つきっかけとすることができる。

(2) 本時の学習材

教師の体験談や写真と児童に宛てた手紙

- このクラスで1年半を過ごした子どもたちは、それぞれに友人関係を作り上げてきているであろう。授業の冒頭で学習材を提示・配布することで、それぞれに想いを伝えたい相手について考えるきっかけとする。
- 本学習材は教師の体験談や写真と児童に宛てた手紙である。この学習材に出会った子どもたちは、提示する際の「宝物」という教師の言葉を聞きその体験談に興味を持ち、教師からのそれぞれに宛てた手紙をきっかけとして仲のよい相手に対し手紙を書き始めるであろう。ふだん仲良く関わっている友達であっても、改めて手紙を書く機会が与えられることでいいところを考えたり日頃の行動についての感謝の気持ちを意識したりする必要がある。また発展してふだんあまり関わりのない子にも手紙を書こうとすると、相手の日頃の行動や自分の関わり方に目を向けていくであろう。子どもたちが相手を思いながら手紙を書いたり、もらった手紙を読んだりしながら、お互いについてや2年1組というクラスについて考えるきっかけとすることが期待できる。

(3) 学習の展開

過程	学 習 活 動	予想される子どもの動き	時間	指 導 と 評 価
課題把握 展開	1 自分の宝物はなにか問う。	・お金！ ・ゲームだよ！ ・僕はペットのしらす。	5'	<ul style="list-style-type: none"> ・当時の写真を見せて時間の経過を感じてもらい、それでも変わらず宝物であるということを意識させる。 ・制作したパワーポイントで例及び当時の写真を提示。 ・一人にひとつ、カードフォルダーに入れて渡す。
	2 もらった手紙の例及び当時の写真を示す。	・こんな内容でもいいの。 0 書いてみたいな。 ・書けるか不安だな。	5'	
	3 教師から児童への手紙を渡す。	・先生はあのときのことを書いてくれたぞ。 0 私も〇〇ちゃんに書きたいな。	10'	
終末	<div>学習課題</div> <div>クラスのお友達に手紙を書こう。</div>		70'	<div>学習材</div> <div>教師の体験談や写真と児童に宛てた手紙</div> <ul style="list-style-type: none"> ・渡すタイミング等は自由。 ・必要であれば名簿配布。 ・絵でもよいことを伝える。 <div>評価</div> <div>友達やクラスメイトに意識を向けることができたか、活動に向かう姿勢から判断する。</div>
	4 手紙を書く。	・何を書こうかな。 ・次は誰に書こう。 ・私は〇〇だって書いてくれたよ。これに返信しようかな。 ・難しかったけど楽しかったよ		